

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	松くい虫薬剤樹幹注入事業委託		基本目標	適切な森林整備の推進		
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	吉田 竜人	評価者	田中 義基
					開始年度	年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	高鍋町の防風松林										
	意図・目的	松くい虫の食害から松林を守る										
事業の内容	防風林であり、海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、樹幹注入による薬剤防除を行う。											
23年度決算額	1,138	千円	24年度予算額	1,138	千円	事業従事者数	H23 0.20	人	H24 0.20	人		
主な支出項目	委託料	1,138	千円	国庫支出金		千円	23年度人件費	1,427 千円				
			千円	県支出金		千円	24年度人件費	1,429 千円				
			千円	地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		100.0	%		
			千円	一般財源	1,138	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-							
	補助交付団体		補助金要綱		-							
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 松くい虫の防除	松くい虫の被害を予防することで、防風林の機能を維持し、景観の保全に努める。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 松くい虫薬剤樹幹注入	松くい虫の被害を予防するため、薬剤を樹幹注入する。	
	2		
	3		

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	44	44
成果指標	松くい虫の防除	実績値	44	44	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	松くい虫薬剤樹幹注入	実績値	1	1	1
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			

事務事業名	松くい虫薬剤樹幹注入事業委託	担当課(局)	産業振興課
-------	----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
妥当性 (必要性)	蚊口浜近辺の松林は、防風林潮害保安であると同時に、海岸線の景観に寄与しており、町の財産でもある。松を枯死させる松くい虫の被害は年々増加しており、継続的な薬剤防除が必要である。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	薬剤樹幹注入により被害の軽減が見込まれる。	◎目標に対して成果は得られているか	1
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	計画的に樹幹注入するために必要最低限の予算となっており、これ以上の削減は困難である。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協働性	松に関する専門知識を要するため、困難といえる。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			12

※町補助をしている場合のみ記入

公益 平 性		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
		◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)			0
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見  ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	松林の殆どは町の財産であり、防風潮害保安林としての役目もあることから、公益性は非常に高い。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			○
				維持			
				縮小			
				廃止			
		廃止	縮小	維持	拡充		
		コスト					

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの経過と今後のことも考えていくこと(防潮林としての考え方の整理等)。</li> <li>・樹幹注入と防除を1本にして、今後の方向性を出してほしい。</li> <li>・樹幹注入の効果が4・5年持続するのであれば、薬剤防除を行うよりも効果が期待されるので樹幹注入へのシフトを考えるべきである。</li> <li>・国有林と同様の防除をするのであれば、併せて防除する方法がないか検討すべきである。</li> <li>・現状では最低限の管理を行っているが、将来的に防風林としての機能を維持するため最も効果的と考えられる対策を行うためには費用拡充は必要と考える。</li> </ul>	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	拡充
		外部評価委員会
		判定